

2025

SUPER GT  
RACE REPORT

Rd.5

8.23[sat] - 24[sun]

[place] 鈴鹿サーキット (三重県鈴鹿市)

[weather] sat 晴れ / sun 晴れ

[spectators] 48,000人 (sat 19,000人 / sun 29,000人)

# SUZUKA CIRCUIT

- Rd.1 OKAYAMA >>>> APR 12-13
- Rd.2 FUJI >>>>>>>> MAY 03-04
- Rd.3 SEPANG >>>>>> JUN 27-28
- Rd.4 FUJI >>>>>>>> AUG 02-03
- Rd.5 SUZUKA >>>>>> AUG 23-24**
- Rd.6 SUGO >>>>>>>> SEP 20-21
- Rd.7 AUTOPOLIS >>> OCT 18-19
- Rd.8 MOTEGI >>>>>> NOV 01-02



TOM'S

サクセスウェイト100kgを背負い、  
猛暑の鈴鹿で渾身の走りを披露。  
9位入賞でランキング首位を維持。



2025 AUTOBACS SUPER GT Round5 SUZUKA GT300km RACE が、8月23日(土)、24日(日)に鈴鹿サーキットで行われた。#1 au TOM'S GR Supra (坪井翔/山下健太)は、100kgのサクセスウェイトの影響で予選は13番手に終わるが、決勝ではいつも通り力強い走りを披露し、9位でポイントを獲得。シリーズランキング首位を維持して、次戦に臨む。



1

TGR TEAM au TOM'S



SHO TSUBOI 坪井 翔

KENTA YAMASHITA 山下 健太

## Rd.5 Result

Qualifying **13** 位      Driver Standings **1** 位  
Race **9** 位      Team Standings **1** 位

Qualifying 1 山下 : P13 / 1'46.867

Qualifying 2 -

Race 坪井 : 1'50.204  
ファステストラップタイム 山下 : 1'51.002

## QUALIFYING

天候：晴れ／気温：34℃／路面温度：47℃



## サクセスウェイト100kgの ハンデキャップが響きQ1敗退となるも、 最大限のパフォーマンスを発揮。

前戦はノーウェイトでのスプリントレースが行われたが、今回は通常通り、獲得ポイントに応じてサクセスウェイトを搭載することになる。全レースでポイントを獲得している1号車は、サクセスウェイト上限の100kgに到達し、燃料リストラクター制限も3段階に入った。アクセルの全開率が高い鈴鹿サーキットでは、大きなハンデとなることが予想された。実際に公式練習では、予想通りライバルたちが先行するなか、1号車は淡々と自分たちの走りに徹した。

例年以上の暑さに見舞われるなか、迎えた公式予選。1号車は山下がQ1を担当し1分46秒867で13番手となった。Q2進出は叶わなかったが、サクセスウェイトを考慮するとトップから2秒近い差をつけられてもおかしくないなか、山下はその予想を遥かに上回るタイムを記録。想定以上の走りを披露し、翌日の決勝レースに流れをつなげた。

## Race

天候：晴れ／気温：35℃／路面温度：52℃

## 早めにピットインする戦略で 4ポジションアップの9位入賞。 ランキング首位を維持する。



気温35℃の猛暑日となったRound5の決勝レース。13番グリッドからスタートする1号車は、毎レース坪井がスタートドライバーを務めてきたが、今回は周囲の状況を考慮し、山下をスタートドライバーに起用。全体の3分の1が経過したところでピットストップを行い、短時間のピット作業と坪井のアウトラップの速さに期待する戦略をとった。

序盤にアクシデントが発生し、セーフティカーが導入される波乱の展開となるが、山下はプラン通り3分の1が経過した18周目にピットインし坪井に交代。メカニックも迅速なピット作業でマシンを送り出し、一時は8番手までポジションをあげた。しかし、サクセスウェイトが軽いライバルは手強く、終盤にひとつ順位を落とし9位でフィニッシュ。厳しい状況下でも、しっかりとポイントを獲得し、ランキング首位の座を維持した。



今までで最も厳しい状況下で、  
これ以上ない結果を出せました。

ドライバー 坪井 翔

予選も決勝も上出来でしたし、これ以上ない結果だったと思います。今回は最大ウェイトだっただけでなく、ライバルとのウェイト差も大きかったため、今まで以上にポイントを獲得するのが難しい状況でしたが、2ポイントを獲得したのは大きかったです。周りと比べてもコーナーが圧倒的に速かったので、その強みを活かせられればと思っていました。目標は10位と言っていましたが、それを超える9位を獲得できたので良かったです。



いつもと違う戦略で、  
しっかりポイントを獲れました。

ドライバー 山下 健太

今回は決勝でスタートを担当させていただきましたが、セーフティカーが導入された影響で、展開的には動きがなく、坪井選手に交代することになりました。自分のステントで前のライバルを抜きたかったのですが、サクセスウェイトの差もあって難しかったです。その際に後ろのライバルに抜かれるとまずいので、自分なりに周りの状況を見ながら、レースを進めていきました。



チーム監督 伊藤 大輔

基本的には、今週末の目標は達成できたと言って良いと思います。ミニマムでピットインしましたが、周りも同じ戦略をとってきたので、想定よりも得をする部分は少なかったです。ただ、燃費が良い部分をうまく活用してポジションアップすることができたのは良かったです。終盤には上位集団と同じペースだったので、燃料リストラクターが3段階絞られているなかで、このパフォーマンスを出せたのは正直驚いています。



チームオーナー 館 信秀

今回も1号車は、上出来の走りをみせてくれました。予選のタイム差をみても、サクセスウェイトを積んでいることを考慮すると非常に良かったと思います。この状況のなかでも、2人のドライバーがしっかりと順位を上げてポイントを獲得したことは素晴らしいですし、次戦も100kgのサクセスウェイトとなりますが、引き続き最大限の走りをしていきたいです。

次戦もたくさんの応援をよろしくお願いたします。

aw

KDDI

